

第18回（1年）

1. 日 時：令和5年11月8日（水）
13:30～15:30
2. 場 所：へきしんギャラクシープラザ
大会議室
3. テーマ：「植物よもやま話」
4. 講 師：稲垣 英夫先生
（元安城文化協会会長）
5. 出席者：18／19名
6. 内 容

○安城市の木

○市の木（黒松）は市政20周年（S47）
に創設された。

○かつて安城ヶ原は小松林があり、東海道
には松並木もあった。

○浜屋町永安寺の「雲竜の松」は樹齢
350年位、樹高4.5m、幹回り3.
7m。幹が地面近くを四方に広がってい
る。樹形が雲を得てまさに天に昇ろうと
する竜を思わせるので、その名前がつい
た。市・県の宝である。

○ヒマラヤスギの松かさは細く大きく、先
端はブローチになっている。外来の松の
葉は常緑で3本のとげの束から成り立っ
ている。ニュージーランドの松かさは32
センチ、重さが150キロもある。

7. 感 想

身近な植物にまつわる話を楽しく聞けた。「植物は面白い」という講師の言葉がとても新鮮で、その視点で見ると確かに納得できる言葉である。日頃、道路を歩いて松かさを見つけた時に、日本産か外来産か、気になるだろう。記憶力と観察力をもって日常生活を送ることができそうである。そんな気持ちにさせてくれた講座であった。

